



東京教区災害対応チーム
災害情報・熊本地震

熊 本
001

【 九州一帯の大規模地震への当面の対応について 】

4月14日（木）夜に発生した「平成28年熊本地震」については、お知らせ004号（～熊本県熊本地方を震源とする地震について ①～）でお伝えしました。その後、震源地が東へも移動、震度6強の地震が多発し被害が九州一体に拡大しております。

この事態を受け、16日午前11時、教区主教、常置委員、教区事務所総主事、災害対応デスクの緊急に集まれる者で協議を行い、当面の対応を下記のように決定いたしました。

基本的考え方

1. 現在、九州では災害そのものが進行中、危険な状態にあり、情報の収集によって状況を把握することを最優先とする。
2. 被災現地である九州教区の要請や要望を待ち、具体的に検討する。
3. 東京教区の各教会での篤いお気持ちを受け止めつつ、冷静に対応を検討する。

具体的な対応

- 1 (1) 情報窓口を教区事務所災害対応デスクに一本化し、管区ならびに九州教区（今後調整し確立する）と情報交換する。
(2) 情報は、各教会牧師、窓口担当の方にメール、FAXし共有する。
- 2 (1) 募金を開始する。
目標額など詳細は決めていないが、各教会のご意思を東京教区事務所で取りまとめる。
(2) 救援物資は現時点では行わない。（九州教区の意向待ち）

各教会・礼拝堂で、犠牲者、被災者、緊急活動をする方々のためにお祈りください。